

群馬大学医学部附属病院の病院長候補者について

群馬大学医学部附属病院長候補者選考会議細則第2条第2号の規定に基づき、学長に推薦する病院長候補者を選考したので、群馬大学医学部附属病院長候補者選考実施内規第7条の規定に基づき、下記のとおり公表する。

記

1 病院長候補者氏名

（氏名） （現職名）

田村 遵一 群馬大学理事（兼医学部附属病院長）

2 選考した理由及び選考の過程

（選考理由）

別紙のとおり

（選考過程）

- ① 平成28年12月28日（水）第1回群馬大学医学部附属病院長候補者選考会議を開催
 - ・群馬大学医学部附属病院長候補者選考基準策定
(URL <http://www.gunma-u.ac.jp/wp-content/uploads/2016/12/01senkokijun.pdf>)
 - ・群馬大学医学部附属病院長候補適任者推薦要項の策定
- ② 病院長適任候補者の推薦受付
 - ・推薦受付期間：平成29年1月4日～1月27日
 - ・推薦受付状況：締切日までに3名の推薦があった。
- ③ 平成29年2月14日（火）第2回群馬大学医学部附属病院長候補者選考会議を開催
 - ・病院長候補適任者資格等審査
 - ・病院長候補適任者の面談実施方法の審議
- ④ 平成29年2月23日（木）第3回群馬大学医学部附属病院長候補者選考会議を開催
 - ・病院長候補適任者3名に対する面談の実施
 - ・学長へ推薦する病院長候補者の決定

平成29年2月28日

群馬大学医学部附属病院長候補者選考会議

別紙

(選考理由)

この候補者に係る推薦書等の書類は、適任者推薦要項で規定する提出書類に照らして不備がないことを確認した。

群馬大学医学部附属病院（以下、「病院」という。）が、一連の医療事故により失った信頼を取り戻すためには、これまでの、病院改革委員会や医療事故調査委員会等からの提言を、すべての病院職員が一丸となって実行し、意識改革や制度改革を行う必要がある。

このため、病院長候補者選考会議では、「病院長選考基準」の各項目を実行するための病院長としてのビジョン・リーダーシップ・組織管理能力等に対する考え方や意欲・実行力について、提出された推薦書等の書類及び面談により評価を行い、以下の理由により病院長候補者として適任であると考え、学長に推薦することとした。

- ① 病院長としてのこれまでの2年間、医療安全及び患者第一を柱とする病院再生に向けた取り組みを着実に実施しており、今後も継続して更なる改革・改善を遂行する強い意欲とリーダーシップの発揮が見込まれる。
- ② 病院改革のため、優先的に取り組む課題と将来を見据えた課題を明確に認識し、その解決のためのビジョンとアクションプラン（「改革への取り組み」群馬大学医学部附属病院（平成28年11月1日））の実行力を有すると認められる。
- ③ 定期的な、病院改革に関する説明会や現場での職員との意見交換を通じて、職員の意識改革の浸透に努めるなど、意思疎通を積極的に行い、病院の風土を刷新しようとする姿勢が見られる。
- ④ 群馬県をはじめとする、関係団体との連携を進めるとともに、幅広い人脈を生かした病院の信頼回復や、地域貢献のための新しい取り組みを開始するなど、医療を通じた地域への貢献の姿勢が見られる。

以上が推薦理由であるが、病院長候補者選考会議としては、病院長の強いリーダーシップの下で、患者の理解促進と信頼回復、職員の意識改革、群馬県の地域医療の発展のための推進役など、病院改革をやり遂げていただくことを強く要望する。

以上